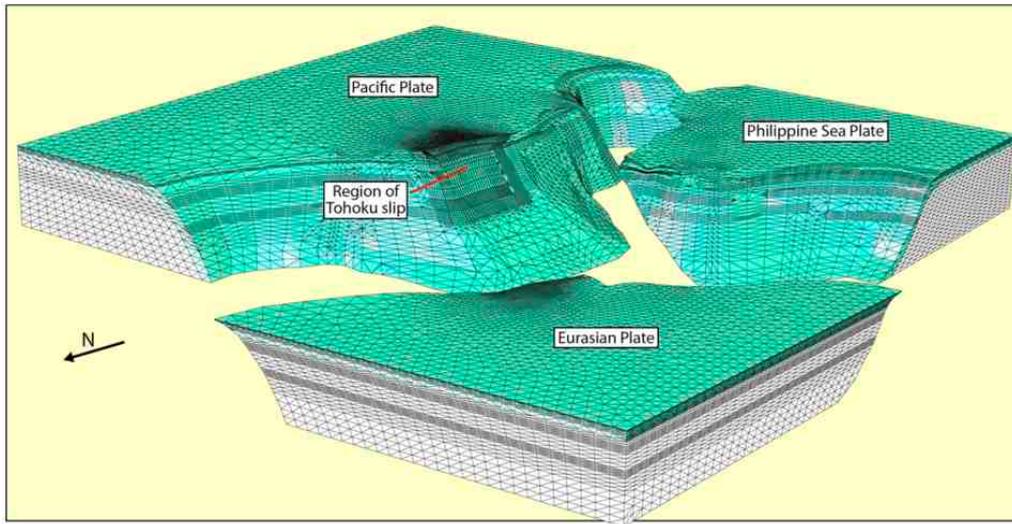


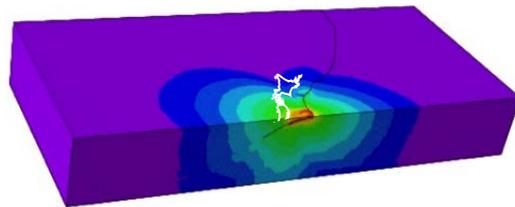
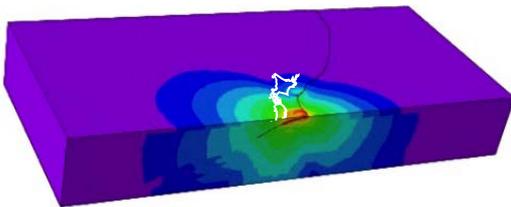
2011年東北沖地震による応力変動計算（3. 1. 2参照）



2011年東北沖地震後の変動計算に用いる有限要素モデル。形状を見やすくするために各プレート的位置をずらして表示。緑色の要素は弾性体、白い要素は粘弾性体を表す。

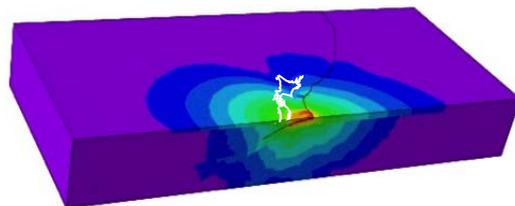
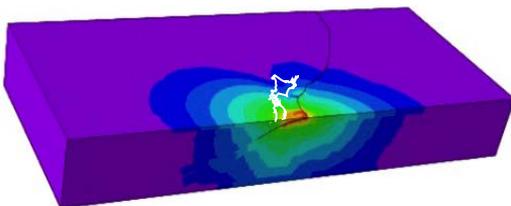
地震直後

5年後



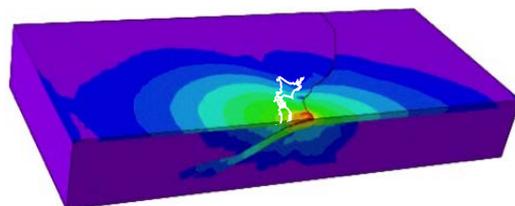
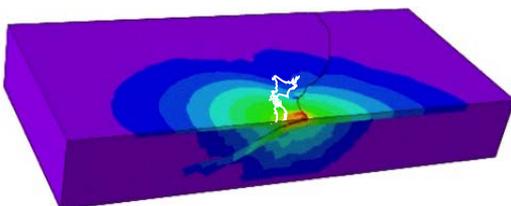
10年後

20年後



50年後

100年後



2011年東北沖地震による、地震直後、5年後、10年後、20年後、50年後、100年後のミーゼズ応力変化。震源域直下の東西方向の鉛直断面とそれより北の地表面を表示している。応力値は対数スケールで表しており、赤が100 MPa、緑が1 MPa、紫が0.01 MPaに対応する。白線は東北地方、北海道の海岸線を示す。